

薬剤部

薬剤部長 筒井 由佳

人員の動きについて

2020年近森病院薬剤部は薬剤師26名（非常勤1名、育時休暇1名含む）、テクニカルスタッフ9名（非常勤1名含む）の体制でスタートしました。1年を通し、薬剤師の採用3名、退職2名、近森リハビリテーション病院への異動1名がありました。途中、当院での勤務経験を有する薬剤師2名が短期間臨時職員として勤務してくれました。2020年12月時点で薬剤師26名（非常勤1名含む）、テクニカルスタッフ9名（非常勤1名含む）の体制となっています。

業務実績

内服処方箋枚数（表1）、注射箋枚数（表2）、錠剤鑑別数（図1）、注射剤無菌調製件数（図2）、薬剤管理指導件数（図3）、病棟薬剤師の介入により医師に対して行うことが出来た処方提案・処方確認件数（図4）、院内特殊製剤調製数（表3）、プロトコルに基づく薬物治療管理施行件数（表4）を示します。

表1 内服処方箋枚数

		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
入院	入院処方箋枚数(枚)	64,593	69,461	76,441	84,479	96,064	109,710	101,668	102,244	103,372	101,714
外来	院内外来処方箋枚数(枚)	4,500	4,333	4,012	4,098	4,841	5,244	4,604	4,403	3,984	2,892
	院外処方箋枚数(枚)	59,222	59,752	60,396	61,679	63,853	69,474	70,152	66,018	88,593	83,780
	院外処方箋発行率(%)	92.9	93.2	93.7	94	93	93	94	94	96	97

表2 注射箋枚数

		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
入院	入院注射せん枚数(枚)	128,783	132,909	134,878	148,122	162,576	181,637	187,880	160,324	152,663	155,273
外来	外来注射せん枚数(枚)	43,106	45,107	38,366	29,819	12,850	41,257	39,875	38,652	37,782	24,360

図1 錠剤鑑別数

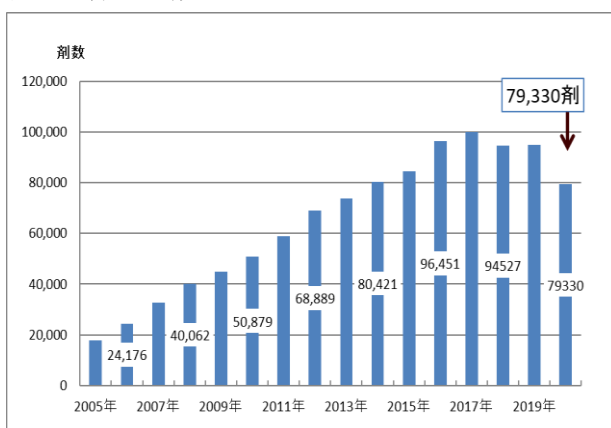
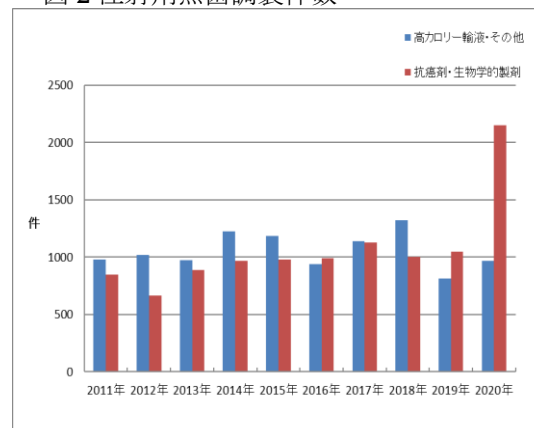


図2 注射剤無菌調製件数



錠剤鑑別数が減少していますが、一度鑑別を実施し、鑑別報告書が作成されている場合には再度の報告書作成は行わないよう運用を変更したことや看護部の協力により二重に鑑別依頼されることが減少したことが影響していると思われます。鑑別数の増加は薬剤部にとって大きな負担となるため、今後も無駄をなくし、効率的な運用を進めていきたいと思ひます。

2020年のがん治療件数が大幅に増加し、それに伴い抗癌剤、生物学的製剤の無菌調製件数が倍増しています。

図3 薬剤管理指導件数

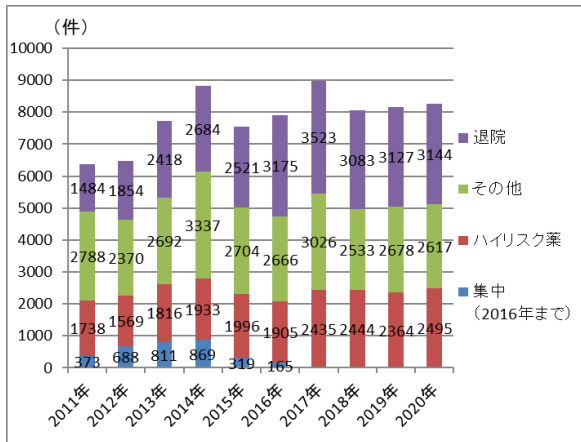


図4 処方提案・処方確認件数

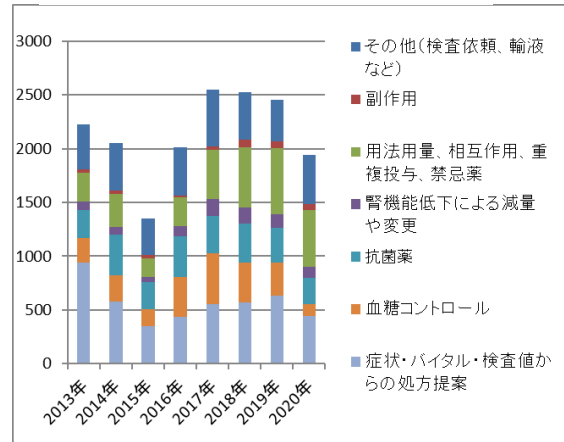


表3 院内特殊製剤調製数

クラス	製剤名	規格	製剤数			
			2017年	2018年	2019年	2020年
I	5%フェノール注射剤	10mL	7	0	0	9
	3%亜硝酸ナトリウム	10mL	10	0	10	0
	1%メチレンブルー注射剤	10mL	19	15	11	6
	亜鉛注射液	5mL	88	91	153	98
	Del Nido	2L	266	253	287	336
II	アミノレプリン酸		0	0	0	中止
	20%塩化アルミニウム液	50mL	0	0	0	0
		100mL	2	1	0	1
	1%ルゴール液	100mL	3	3	5	4
	2%ルゴール液	20mL	30	25	18	30
	ピオクタインブルー液1%	30mL	6	9	8	6
	(内アンプル分注)	2ml	-	-	38	17
	ピオクタインブルー液2%	30mL	15	24	20	12
	CB (Carbon Black) マーカー	2mL	10	0	0	0
	滅菌墨汁	5mL	23	27	45	62
	0.2%ミノマイシン軟膏	10g	-	-	187	108
		20g	115	225	1	0
		100g	-	-	2	0
	10%リドカインクリーム	10g	10	25	10	10
		30g	10	20	10	10
	0.1%リファンピシン液	300mL	2	0	1	12
	0.6%グルタルアルデヒド溶液 100ml	100mL	0	10	10	21
モノクロロ酢酸液	8ml	-	-	1	0	
40%硝酸銀液	10ml	-	-	1	0	
ミアンセリン坐剤	10mg	120	57	0	0	
III	滅菌タルク	6g	0	0	0	中止
	0.5%イソジン・グリセリン液 500ml	500mL	3	0	1	1
	1%イソジン・グリセリン液	300mL	67	59	61	73
		500mL	191	105	120	96
	滅菌ボール水	500mL	31	15	18	16
	ピソルボン・生食吸入液	500mL	99	53	88	70
	ボルタレン含嗽水	処方箋によりその都度払い出し				
	デカドロン・エリキシル含嗽液					
	リドカイン含嗽液(キシロカイン含嗽液)					
	柿蒂湯					
	フステン水					
ZWO(亜鉛華白色軟膏) (混合予製剤)						
アクトシン×ユーバスタ (混合予製剤)						

表4 化学療法関連プロトコルに基づく薬物治療管理 (CDTM) 施行件数

化学療法関連CDTM	施行件数
HBV再活性化早期発見	62
下痢	3
尿蛋白	56
皮膚障害	3
眼障害	0
イリノテカンによるコリン作動性症状	2
低Mg血症	15
オピオイド	0

ジェネリック医薬品使用率

本年度も使用頻度の多い薬剤、コストメリットの大きい薬剤のジェネリック医薬品への変更を推進し、ジェネリック医薬品使用率 85%以上 (3ヶ月平均) を維持しています。

2020年新たに取り組んだ事項

●Covid-19への対応

消毒剤の供給、CU病棟運用調整、薬剤部BCP (事業継続計画) 策定、治療薬の院内使用に向けた整備、電話受診への対応

●令和2年度診療報酬の改定により4月より新たに薬剤総合評価調整加算、薬剤調整加算、退院時薬剤情報連携加算、連携充実加算が算定可能となりました。連携充実加算は体制を整備し、7月より算定を開始。今後それぞれの業務の充実を図っていききたい。

- 保険薬局を対象としたがん化学療法に関する3病院（高知医療センター、高知赤十字）合同のWEB勉強会を開催
- WEBによる部内勉強会の開催
- WEBによる薬剤師採用面接試験の実施
- 高知市6病院WEBによる病院薬剤師業務説明会
- メーカーの不祥事により医薬品の供給に多くの問題が生じた。診療への影響を最小限にするため代替薬への変更、情報提供に務めた。
- 薬剤部公式 Instagram 開始
- 保険薬局からの研修生受け入れ（11月～5ヶ月の予定）

本年はCovid-19へのさまざまな対応を必要とする1年でした。部内での感染対策の徹底に始まり、WEBでの面接や就職説明会などこれまで想定していなかった手法が用いられることとなりました。特にWEBの利用はこの機に大きく前進し、今後も利用されていくものと思われまます。今後も時代に応じて柔軟に変化し続けたいと思います。

学術発表・講演会等

演題	発表者/共同研究者	学会名	開催
当院に搬送されたアシクロビル脳症を発症した11症例に関する検討	東野愛	第3回近森会グループ学術集会	8.15
救急医療を起点とする入院から地域までのシームレスな薬剤情報連携の構築に向けて	宮崎俊明	第23回日本臨床救急医学会総会・学術集会シンポジウム9	8.26-27
心不全カンファレンスにおける薬剤師の役割と今後の展望	松田有加 萩野佑紀 宮崎俊明 筒井由佳	第30回日本医療薬学会年会	10.24-11.1
心不全チームにおける薬薬連携の有用性	萩野佑紀 松田有加 宮崎俊明 筒井由佳	第30回日本医療薬学会年会	10.24-11.1
アシクロビル脳症により当院へ搬送された症例に関する薬学的考察	吉田晴菜 東野愛 高橋佐和 宮崎俊明 筒井由佳	第30回日本医療薬学会年会	10.24-11.1
薬剤師が発信する医療連携一院内から地域まで	筒井由佳	第30回日本医療薬学会年会シンポジウム19	10.24-11.1
組織改革を実現するための薬剤部マネジメント	筒井由佳	第30回日本医療薬学会年会シンポジウム38	10.24-11.1
病院薬剤師から保険薬局への薬剤情報提供に対する患者の認知度調査	中山洋平 宮崎俊明 筒井由佳	第59回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会	11.7-11.8
域医療を支える薬剤管理サマリーの役割	筒井由佳	第59回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会シンポジウム2	11.7-11.8

講演

演題	発表者	学会名	開催
PBPMを用いた薬剤師業務の実践	筒井由佳	第9回 Team Pharmacist Seminar	1月18日 東京
チーム医療のアウトカムを見据えた薬剤師業務の実践	筒井由佳	TAMA Pharmacy Director Seminar	1月20日 東京
チーム医療のアウトカムを見据えた薬剤師業務の実践	筒井由佳	Pharmacy Director Seminar in Aomori	2月1日 青森
PBPMを用いた薬剤師業務の実践ー糖尿病治療を中心にー	筒井由佳	Advanced Pharmacist Seminar in 関西	10月3日 WEB

論文

研究課題名	著者	投稿誌
非弁膜症性心房細動患者を対象とした直接作用型経口抗凝固薬の服薬アドヒアランスの実態調査	共著) 筒井由佳	医療薬学